九州地方

名前

問1　沖縄県は九州の南方に位置し、日本の他の地方と比較して緯度が低いという特徴があります。このような地理的条件によってもたらされる「年間を通じて温暖な気候」や「美しいサンゴ礁」といった自然環境を最大限に活用し、県の経済において最も高い割合を占めている産業はどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）

1. 観光業やサービス業を主体とする第三次産業
2. 先端技術の開発や情報通信に特化した第四次産業
3. 農業や漁業を主体とする第一次産業
4. 重化学工業や加工貿易を主体とする第二次産業

問2　火山活動によるエネルギーを利用した発電方式が、日本の九州地方で盛んに行われている理由と、そのエネルギーの性質について説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 広大な平野部にパネルを設置し、日照時間の長い太平洋側の気候を活かして昼間の電力を賄う性質を持つ。
2. 沿岸部で発生する強い海風を風車で捉えており、二酸化炭素を全く排出しない性質を持つ。
3. 急峻な山地を流れる河川の落差を利用しており、雨の多い季節に発電量が最大になる性質を持つ。
4. 活火山や温泉地が多い地形的な背景を活かしており、天候に左右されず安定した電力供給が可能であるという性質を持つ。

問3　九州地方の気候について、福岡市と宮崎市の降水量の特徴を比較した説明として最も適切なものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 福岡市は夏に雨が極端に少なくなる瀬戸内の気候の特徴を持つが、宮崎市は黒潮の影響で冬でも降水量が減らず、一年中多雨である。
2. 宮崎市は冬の季節風の影響で12月・1月に降水量が最も多くなるが、福岡市は年間を通じて降水量の変化が少なく、常に一定の雨量がある。
3. 宮崎市は福岡市に比べて年間の総降水量が少なく、特に夏から秋にかけては乾燥した晴天の日が続くため、水不足になりやすい特徴がある。
4. 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。

問4　鹿児島県などの南九州に広がるシラス台地では、一般的な地域の井戸が約6メートルから10メートル程度の深さであるのに対し、約64メートルもの深さがある「深井戸」が掘られてきました。このように極端に深い井戸が必要とされた理由として最も適切な説明はどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 関東ローム層と呼ばれる粘土質の層が厚く、地表付近の水の浸透を妨げているため
2. 花こう岩の地層が地表近くまで迫っており、岩盤の隙間にあるわずかな水を確保するため
3. 台風による塩害を防ぐため、海水の混入しない深層の真水を確保する必要があるため
4. 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため

問5　ある都市の気象統計において、6月や7月の梅雨の時期に降水量が多く、さらに9月に台風の影響で年間最大の降水量のピークが見られる気候的特色を持つ都市はどこですか。また、その主な要因は何ですか。（2023年 岡山県公立入試 類似）

1. 周囲を高い山々に囲まれた盆地であり、年間を通して降水量が非常に少ない長野市
2. 太平洋からの季節風が九州山地に遮られることや、台風の通り道となることが要因である宮崎市
3. 南西諸島に位置し、年間を通して気温が高く、梅雨の時期が本土より早い那覇市
4. 日本海を流れる対馬海流の影響を受け、冬の降水量が夏よりも多くなる福岡市

問6　九州南部に広がるシラス台地は、その土壌の性質から水持ちが悪く、かつては稲作を行うことが困難でした。このような自然環境を背景に、この地域で特に発展した農業の形態として最も適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 果樹園でのリンゴ栽培と、大規模なブドウの生産
2. 冷涼な気候を利用したレタスやキャベツの高原野菜栽培
3. サツマイモや茶の栽培、および豚や肉用牛の畜産
4. 水に恵まれた環境を活かした二期作による稲作

問7　福岡県を訪れる外国人観光客の統計を確認すると、韓国からの宿泊者数が中国からの宿泊者数の3倍以上に達しています。このような特色が見られる主な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. 九州地方では中国との貿易が禁止されており、観光客の受け入れを制限しているため
2. 九州新幹線の開通により、東南アジアから陸路での入国が容易になったため
3. 福岡県内にアジア最大の国際ハブ空港があり、欧米からの直行便が集中しているため
4. 博多港と韓国の間に国際定期航路があり、地理的にも非常に近接しているため

問8　沖縄県の産業構造において、製造業などの第二次産業の割合が低く、サービス業や小売業などの第三次産業の割合が突出して高い理由として、適切なものを選択してください。（2019年 愛媛県公立入試 類似）

1. 広大な平野を利用した機械化農業が推進され、農産物の加工から販売までを行う第六次産業が製造業に代わっているため。
2. 亜熱帯の気候や独自の文化を求めて国内外から多くの観光客が訪れ、観光関連産業が県の経済を支えているため。
3. 政令指定都市を中心とした都市圏が形成され、情報通信技術（ICT）関連の製造工場がすべて県外に移転したため。
4. 県外からの輸送コストが高いため、原材料を輸入して製品を輸出する加工貿易型の工業が全く発達しなかったため。

問9　人口増減率がプラス〇点四七パーセントを示している沖縄県の産業構造について、統計資料から読み取れる特徴を説明したものとして、最も適切な記述を選びなさい。（2024年 山形県公立入試 類似）

1. 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。
2. 人口増加に伴い、自動車産業などの重化学工業が急成長し、製造品出荷額が九州地方で最大となっている。
3. 広大な平原を利用した大規模な機械化農業が中心であり、製造品出荷額も全国トップクラスである。
4. 海面漁業の漁獲量が国内最大であり、それに関連する食料品製造業の出荷額が県内産業の半分以上を占める。

問10　東京都中央卸売市場におけるピーマンの月別出荷状況をみると、1月から5月にかけては宮崎県や高知県からの出荷が市場の大半を占めていますが、夏場になると岩手県や茨城県からの出荷が増えるという対照的な構造になっています。宮崎県や高知県が、冬から春の時期に多くのピーマンを出荷できる背景として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）

1. 冬の温暖な気候とビニールハウスを活用し、成長を早めて出荷時期をずらしているため
2. 広大な平野で機械化を進め、一年を通じて季節を問わず露地栽培を行っているため
3. 大消費地である東京までの輸送距離が短いため、冬場の寒さによる鮮度の低下を防げるため
4. 夏の涼しい気候を活かし、本来の収穫時期よりも大幅に遅らせて出荷しているため

問11　阿蘇山などで見られる「カルデラ」が形成される仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2019年 愛知県公立入試 類似）

1. 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。
2. 地殻変動によって山脈の一部が激しく隆起し、その周囲が相対的に低くなることで形成される。
3. 火山から吹き出した火山灰や軽石が、長年にわたって周辺の平地に厚く降り積もることで形成される。
4. 波の浸食作用によって海岸の岩場が削られ、さらに地盤の沈降によって複雑に入り組んだ地形として形成される。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 観光業やサービス業を主体とする第三次産業	沖縄県は低緯度に位置するため、冬でも気温が下がりにくく、一年を通して温暖な気候に恵まれています。この気候やサンゴ礁が広がる海などの豊かな自然資源は、観光客を引きつける大きな魅力となっています。その結果、宿泊業や飲食業、小売業などのサービス業を含む第三次産業が、県内の就業者数や生産額において極めて高い比率を占める産業構造となっています。
問2	答え 4 活火山や温泉地が多い地形的な背景を活かしており、天候に左右されず安定した電力供給が可能であるという性質を持つ。	九州地方には阿蘇山などの活火山が多く、地下の熱源を確保しやすいという地理的条件が揃っています。地熱発電は、太陽光や風力といった他の再生可能エネルギーとは異なり、昼夜や天候を問わず一定の発電量を維持できる「ベースロード電源」としての役割が期待されています。
問3	答え 4 福岡市は梅雨の時期である6月・7月に降水量のピークがある一方で、宮崎市は台風や季節風の影響を受け、夏の降水量が月間600mm近くに達するなど非常に多い。	九州北部に位置する福岡市は、梅雨の時期に降水量がまとまる日本海側の気候の特色を持っています。これに対し、九州南部の太平洋側に位置する宮崎市は、暖流である黒潮（日本海流）の影響や、夏から秋にかけて吹き込む湿った南東の季節風、さらには台風の進路になりやすいといった地理的要因が重なり、夏から秋にかけて全国的にも非常に多い降水量を記録します。
問4	答え 4 地表を覆う火山噴出物の層が極めて水はけ良く、地下深くの帯水層まで掘り進める必要があるため	南九州に広がるシラス台地は、過去の火山活動による火砕流堆積物（シラス）で構成されています。この層は非常に厚く、かつ粒子が粗いため水はけが良すぎるという特徴があります。そのため、雨水はすぐに地下へ浸透してしまい、地表付近で水を得ることが困難です。生活用水を確保するためには、この厚いシラス層を貫き、地下水が蓄えられている「帯水層」に到達するまで深く掘り進める必要がありました。
問5	答え 2 太平洋からの季節風が九州山地に遮られることや、台風の通り道となることが要因である宮崎市	月別の降水量において、夏季の季節風の影響で6～7月の雨量が多く、かつ9月に台風による突出したピークが見られるのは宮崎市の典型的な雨温図の特徴です。九州山地が湿った空気を遮る壁の役割を果たすため、その東側に位置する宮崎側で降水が促されます。那覇市はより早い時期に梅雨入りし、福岡市は日本海側の気候の影響を受けるため、このような極端な秋のピークは現れにくい傾向にあります。
問6	答え 3 サツマイモや茶の栽培、および豚や肉用牛の畜産	シラス台地は非常に水はけが良く、水分が地下に浸透しやすいため、水田よりも畑作に適しています。そのため、乾燥に強いサツマイモや茶の栽培が盛んになりました。また、広大な台地を利用して豚や肉用牛、鶏などの畜産業が発展し、鹿児島県は日本有数の畜産県となっています。
問7	答え 4 博多港と韓国の間に国際定期航路があり、地理的にも非常に近接しているため	福岡県は地理的に韓国と近く、博多港と釜山を結ぶ高速船（ジェットフォイル）などの国際定期航路が日常的に運行されています。このため、他県で多く見られる「中国からの観光客が最多」という傾向とは異なり、船舶を利用して比較的短時間・低コストで移動できる韓国からの観光客が高い割合を占めるという独自の構造を持っています。
問8	答え 2 亜熱帯の気候や独自の文化を求めて国内外から多くの観光客が訪れ、観光関連産業が県の経済を支えているため。	沖縄県は、その温暖な気候や青い海、琉球王国時代からの独自の伝統文化といった観光資源を最大限に活用しています。ホテル業、飲食業、交通機関などの観光に関連するサービス業（第三次産業）が雇用の受け皿となっているため、就業者割合が極めて高くなっています。これに対し、本州のような大規模な重化学工業の集積が少ないため、相対的に第二次産業の割合が低くなっています。
問9	答え 1 製造品出荷額は全国的に見て低い水準にあるが、温暖な気候を活かした畜産業などが盛んである。	沖縄県は全国で最も高い出生率を背景に、統計上で人口増減率がプラスを示す特徴があります。産業面では、輸送コストや電力供給の制約から大規模な重化学工業が発達しにくいため、製造品出荷額は低くなります。その一方で、肉用牛や豚などの畜産業、さらにはサンゴ礁の発達した海域での海面漁業など、地域の自然環境を活かした第一次産業が統計上の特色となっています。北海道や鹿児島県も畜産業や漁業が盛んですが、人口増減率の傾向が異なります。
問10	答え 1 冬の温暖な気候とビニールハウスを活用し、成長を早めて出荷時期をずらしているため	宮崎平野や高知平野では、冬の温暖な気候を背景とした促成栽培が盛んです。これは、他の産地（茨城県などの露地栽培や、東北地方の涼しい気候を活かした抑制栽培）と出荷時期を重ねないことで、競争を避け、農家の利益を安定させる目的があります。市場におけるシェアの変動は、各地域がその気候特性を活かして出荷時期を分担している様子を示しています。
問11	答え 1 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。	カルデラはスペイン語で「鍋」を意味し、噴火によって地下のマグマが大量に失われた際、支えを失った火山の中央部が陥没（沈み込むこと）してできた地形です。火山灰が積もってできるのはシラス台地、波の浸食と沈水でできるのはリアス海岸であり、カルデラの形成過程とは異なります。